

# 混声合唱組曲 季節のしおり

©2008 Kentaro Sato (Ken-P)

## -春の足音-

耳を澄ましてごらん  
冬を越えた種たちが ほら！  
雪解けとともに そっと目をさます

じっと見つめてごらん  
枝先のつぼみたちも ほら！  
春風に小さく微笑んで 柔らかく花ひらく

春の想いを 桜は染めてゆく  
時はまた廻り  
いつも出会いと別れを見送りながら  
静かに散ってゆく桜吹雪の中で  
消えゆく今を抱きしめて

耳を澄ましてごらん  
空を見つめる鳥たちが ほら！  
巣立ちの季節を  
今歌いだす

昨日の願いを明日の夢にかえて  
僕は歌う 私も歌いだす

今を感じてごらん  
未来へ続く確かな足音が ほら！  
春にこだまする

## -夏の絵具-

この青空から 夏の絵具をとりだして  
海の世界と  
僕の心と 私の心に  
ひろげよう

波の音が聞こえる  
風に乗って夏が走りだす

まばたきの時間を惜しんで  
この瞬間をみつめる  
心のキャンバスが消える前に  
夏色の空と海と  
そこに映るすべての笑顔を  
描きあげよう 今！

この青空から 夏の絵具をとりだして  
私のキャンバスと 僕のキャンバスに  
流れる時間と太陽の香りがにげるまえに  
つかまえよう 今！

## -秋の影絵-

赤と黒の出会い

夕日が世界を染めながら  
空の彼方へしずむ時  
秋に吹かれて音もなく  
燃える木の葉が舞いあがる

そして

赤く染まった銀幕に  
過ぎた記憶の情景が  
影絵となって揺らめきながら  
落ち葉とともに大地にかえる  
夕日とともに大地にかえる

赤、黒、赤、黒、赤、黒・・・

## -冬の息吹-

それは  
世界が銀にそまる夜  
すこし窓をあけて 冬の息吹感じたら  
目をとじて 心の扉をひらく

それは  
世界が夢にそまる夜  
すこし窓をあけて 夢を息にたくしたら  
目をあけて 静かに北風にのせれば  
それは白い万華鏡  
輝く夜にまわりだす  
ほら 夜風に揺らめき静かにとけてゆく  
白い夢の吐息

部屋の明かりをそっと消して  
もう一度 夢を北風にのせれば

それは白い幻想曲  
冬の妖精も踊りだす  
ほら 夜空に瞬き静かにきえてゆく  
白い冬のメロディー  
銀の世界へきえてゆく  
夜の世界へきえてゆく  
夢の世界へきえてゆく

世界が銀にそまる夜に  
世界が夢にそまる夜に  
心の翼をひろげて星降る夜へときえてゆく

きえてゆく・・・